

2016年3月4日

報道関係各位

公益財団法人 三菱商事復興支援財団

「ふくしま逢瀬ワイナリー」 ワイン・リキュールの初出荷について

公益財団法人 三菱商事復興支援財団（以下、復興支援財団）は、福島県郡山市逢瀬町で運営する「ふくしま逢瀬ワイナリー」（以下、ふくしまワイナリー）で製造したワイン・リキュールの初出荷を、本日用運びとなりましたのでお知らせ致します。また、初出荷を記念し、本日郡山市公会堂で商品発表会・試飲会を開催致します。

ふくしまワイナリーは昨年10月27日に竣工し、福島県産のぶどう・りんご・桃・梨を使用して醸造を開始致しました。その中で、ぶどう・りんごの醸造が完了し、本日、ロゼのスパークリングワイン（ぶどう）・シードル（りんご）として出荷致します。出荷本数はスパークリングワインが約500本、シードルが約5,000本となります。

販売先は、福島県のホテル・旅館・レストラン・観光施設・土産店等を予定しており、本日から順次出荷を行います。今年度は県内を中心に販売する予定としておりますが、徐々に生産量を増やして行き、将来的には東北地区や首都圏のレストラン・小売店等でも取り扱って頂くことを目指しております。

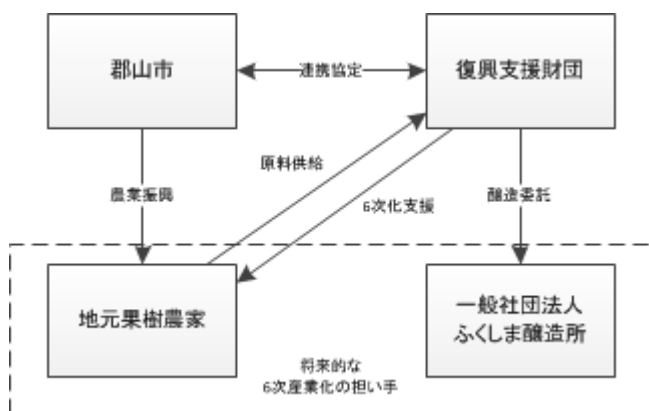
復興支援財団は、昨年2月に郡山市と連携協定を締結、「果樹農業6次産業化プロジェクト」を推進し、福島県産果実の生産・加工・販売を一貫して行う新たな事業モデルの構築を目指しています。今回の商品初出荷をその第一歩とし、今後も福島県産果実の活用を図ると共に、新たにワイン用ぶどうの生産に挑戦する農家を支援、ワイン・リキュールの製造・販売を拡大して行くことを計画しています。

ふくしまワイナリーは、福島の産業や人を繋ぐ拠点となることを目指し、2016年度中に一般公開する予定です。また、施設内のセミナールームをワイン・リキュール作りに関する勉強会や地域の方々の交流の場として提供致します。

東日本大震災からまもなく5年が経過しますが、地震・津波により甚大な被害を受けた地域は未だ再建途上にあります。復興支援財団は、郡山市や農家の方々と共に果樹農業6次産業化プロジェクトを推進することで、地域経済を活性化し、福島県をはじめとした被災地の復興を後押ししていきます。

【商品に関するお問い合わせ先】 TEL：0120-320307

※ ふくしまワイナリーのワイン・リキュールの製造は、一般社団法人ふくしま醸造所に委託しています。



【商品】



- スパークリングワイン（ロゼ） 商品名「MUSCAT BAILEY A ROSE 2015」（左）
大きな寒暖差により、旨味の詰まった農作物を生み出す会津盆地で収穫したぶどうを100%使用した商品です。心地良い泡にいちごのようなフレッシュで甘い香りが口いっぱいに広がります。
- シードル 商品名「CIDLE 2015」（右）
開花から収穫までの期間が長く、じっくり完熟した福島県産の「ふじ」を100%使用し、芳醇な甘味と酸味のバランスに優れ、フレッシュな香りと果実味を感じる商品です。



シードルの原料として使用したりんごの搾汁



スパークリングワイン（ぶどう）の瓶詰を行う様子

【2015年度の仕入れ及び製造に関するデータ】

① 仕入れ

	産地	銘柄
ぶどう	会津若松市	マスカット・ベリーA
りんご	福島市、郡山市	ふじ
桃	伊達市を中心に福島県内から調達	あかつき
梨	郡山市を中心に福島県内から調達	幸水、豊水

② 製造

	商品	販売本数	希望小売価格 (税別)
ぶどう	スパークリングワイン（ロゼ）	約 500 本	2,000 円
りんご	シードル	約 5,000 本	2,000 円
桃	リキュール	2016年夏頃に発売予定	未定
梨	リキュール	2016年夏頃に発売予定	未定

【ふくしまワイナリー概要】

- ① 所在地：福島県郡山市逢瀬町多田野字郷士郷士 2 番地
- ② 敷地面積：約 9,000 m²
- ③ 建物面積：約 1,400 m²
- ④ 生産量：今年度調達した果実では約 10,000 リットルを生産。5 年後に 30,000 リットル程度、10 年後に 50,000 リットル程度の生産を目指す。

【郡山市と復興支援財団の連携協定】

郡山市と復興支援財団は、郡山市における東日本大震災等からの復興を図るため、次の通り協定を締結しています。

1. 目的

郡山市と復興支援財団が緊密に連携することにより、双方の資源を有効に活用した協働による活動を推進し、当財団が実施する復興支援事業を通じ、農業、観光、物産業等の地域産業の振興を図り、東日本大震災等からの復興に資することを目的とする。

2. 連携協定の内容

- (1) 風評の払拭及び販売促進に関すること。
- (2) 6次産業化、農商工連携に関すること。
- (3) 観光の振興に関すること。
- (4) 地域産業の振興に関すること。
- (5) 地域資源を活用した商品開発に関すること。
- (6) その他、目的達成のために必要な事項に関すること。

【復興支援財団の概要】

三菱商事は 2011 年 4 月、4 年間総額 100 億円の「三菱商事東日本大震災復興支援基金」を創設しました。2011 年度は、基金を通じて、義捐金や緊急支援物資・機器の提供や、被災した大学生への奨学金と復興支援に関わる NPO などへの助成金の給付を行いました。

2012 年 3 月には「三菱商事復興支援財団」を設立、同年 5 月公益財団法人の認定を取得しました。復興支援財団は、基金で展開してきた大学生への奨学金制度と復興支援に関わる NPO などへの助成金の給付制度を受け継ぎ、さらに地元金融機関と協力しながら産業復興や雇用創出に結び付く投融資活動を行ってきました。2015 年度には、復興支援活動の継続のため追加で三菱商事から 35 億円が追加拠出されています。

- ① 本社所在地：東京都千代田区丸の内二丁目 3 番 1 号
- ② 設立：2012 年 3 月
- ③ 財団規模：100 億円
- ④ 事業内容：修学が困難となった学生に対する奨学金の給付、復興支援活動に従事する非営利団体等への助成金の給付、その他被災地の産業復興・雇用創出等に資する事業

⑤代表者：会長 小林健（三菱商事代表取締役社長）
副会長 廣田康人（三菱商事代表取締役常務執行役員）
代表理事 野島嘉之（三菱商事環境・CSR 推進部長）

【本件に関する問い合わせ先】

復興支援財団 広報担当 村上 TEL：070-2156-8789

以上